

トップメッセージ



「創業」と「守成」を同時に行い、 次世代社会に貢献する

代表取締役社長
山石 昌孝

中期経営計画「GD2020」に取り組む

横浜ゴムグループは2018年度より3カ年の中期経営計画「GD2020（グランドデザイン2020）」をスタートしました。「GD2020」では、各事業の成長戦略を通じて経営基盤を強化し、来るべき2020年代でのさらなる飛躍に備えています。また、経営戦略においてCSRを切り離して考えることはできません。「未来への思いやり」をCSRスローガンとして積極的にCSRに取り組んでいます。

私たちは、お取引先さまや地域社会など全てのステークホルダーと共に、当社グループの事業活動を通して地球と社会の豊かさに貢献したいと考えています。そのために、社会に対する公正さ、新しい価値創造と事業の広がり、地球環境との調和、人を大切に切磋琢磨する環境の構築、そして、地域との強い絆をさらに深めることに取り組み、ゆるぎない信頼を得られるよう進めてまいります。

取り巻く社会環境変化と私たちが取り組まねばならないこと

近年、世界の社会情勢の変化により、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。今、持続可能な社会実現のための行動が一層求められています。

国際社会では、2030年に向けた世界共通の目標として17のゴールと169のターゲットからなる「持続可能な開発目標=Sustainable Development Goals (SDGs)」を掲げ、持続可能な世界を実現するために取り組んでいます。当社グループも国連グローバル・コンパクト (GC) に参画し、事業を通して、さまざまなステークホルダーと連携した取り組みを行っています。その活動の一つとして当社は、持続可能な発展のための世界経済人会議 (WBCSD) と協調し、2018年に「持続可能な天然ゴムの調達方針」を策定しました。この方針を天然ゴム農園やサプライヤーの方々を含めたサプライチェーン全体で共有し、天然ゴムの持続可能な社会の実現に向けて活動していきます。

さらに、次世代のモビリティ社会やインフラを支える「環境貢献商品」を提供し続けるとともに、従業員によるボランティア活動、社会貢献基金「YOKOHAMAまごころ基金」を通して、NPOへの援助や被災地支援を継続していきます。このような多くの方々とのふれあいやさまざまな取り組みを通して、横浜ゴムグループ各社、各事業所が地域になくてはならない企業を目指します。

横浜ゴムグループの従業員と共に

私たちの事業活動の基本は、「安全・コンプライアンス・品質」が経営基盤の要となります。2018年度も労働災害や小火（ボヤ）が発生しました。過去3年間で発生件数は減少しているものの、ゼロ災は達成できませんでした。私自身も社員に向けたメッセージを発信し、また各部門の責任者と、何度も安全についての対話を重ねています。従業員一人一人には「自分ごと」として安全に本気で取り組んでもらい、共に災害ゼロの達成を目指していきたいと考えています。

私は社長就任時に「創業守成」について話をしました。この「創業」と「守成」は双方とも大切で、かつ同時に推進しなければ市場で生き残ることはできません。内部改善（守成）と成長戦略（創業）は、社会と環境そして事業の持続可能性に関わる課題解決につながるものです。脱炭素やSDGsに取り組み続けるためには、それぞれが仕事や生活の中において、改善点や気づきを自分自身の課題として捉え、周りとの連携し、何度でも挑戦し続けることが必要です。より一層、これまで積み上げた知恵を活かしつつ、お互いを尊重し高め合い、多様な人材が活躍できる職場をつくります。そして新たなビジネスモデルを構築し、次世代の生活やビジネス、そして社会環境をより良くしていきたいと考えています。



第14回全社安全防災大会（2018年12月）

未来への思いやりとSDGsの関連

未来への思いやり
地球に生きる幸せと豊かさに貢献します



コーポレートガバナンス

国際的な規範や協調に沿って、持続的な事業活動を継続する基盤をつくります

ガバナンス、コンプライアンス、事業継続に資する活動を行います



製品を通して

安心して生活できる未来に向けた製品やサービスを追求していきます



地球環境のために

豊かな自然を残すために、事業活動を通して環境課題に取り組みます





人とのつながり

多様な人材が安心して活躍できる職場や社会をつくれます



地域社会と共に

地域と共に発展するため、多様なコミュニケーションと地域問題に取り組みます



[トップメッセージ](#)
[事業とSDGs](#)
[CSRスローガン「未来への思いやり」](#)
[基本方針](#)
[責任者メッセージ](#)
[コーポレートガバナンス](#)
[製品を通して](#)
[地球環境のために](#)
[人とのつながり](#)
[地域社会と共に](#)
[主要な取り組みに関する進捗状況](#)
[GRIガイドライン](#)
[CSRデータ集](#)
[CSRレポート関連情報](#)
[工場・関連会社CSR](#)
[CSRニュース](#)
[YOKOHAMA千年の杜プロジェクト](#)
[東日本大震災に関する横浜ゴムの取り組みについて](#)